



2023年度 土曜参観スクールフォーラムより

「叱る」をアップデート！

～「なんでなんで質問」からの卒業で、親子でハッピーに～

お子さんが部屋を片付けなかったり、忘れ物をしたりした時、「なんでやらないの?」「なんで忘れるの?」と言ってしまったこと、ありませんか?

この「なんで?」という質問。一見、質問に見えますが、実は質問の形をした“叱責”になっていることが多いのです。



「なんで?」の落とし穴

「なんでなんで質問」は、子どもの意識を“過去”と“失敗”に向けさせます。そして、問題ばかりに焦点が当たる「プロブレムトーク」になってしまいます。

すると、子どもは心も体もギュッと緊張して防衛的な反応が出してしまい、つい言い訳をしてしまったり、時には反発をしたりするのです。

今日からできる! 声かけチェンジ!

例えば、忘れ物をした場合…

なんで
忘れ物をしたの?



どうすれば
学校の準備が
できる?



右のように問いかけると、子どもの脳は“未来”と“解決”に向かって動き出します。

親子で取り組む3つのコツ

- ✓おうちの方の「どうすればできる?」の問いかけに、子どもなりに考えたことは、まず肯定的に受け止める。(“〇〇はそう思うんだね”という感じで)
- ✓何かアドバイスをしたい時は、「ちょっと(例:お母さんの)考えを言ってもいい?」とひと声かけてから。
- ✓子どもが自分で考えた「小さな一歩」を応援する。

うまくいかないこと＝成長のチャンスと捉えて、「また作戦会議をしようか」と子どもに考えさせ、やってみることを繰り返すことで、子どもの考える力や自信を育むことができます。

まずは、「どうすれば～できるかな?」から
始めてみませんか?

